

フィルターカートリッジの選定

サーフェスタイプ

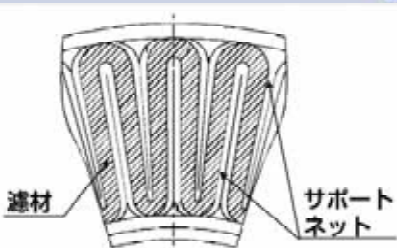
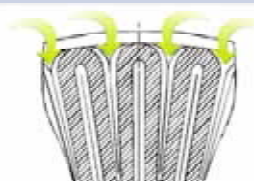
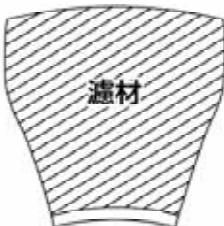
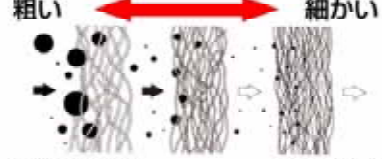


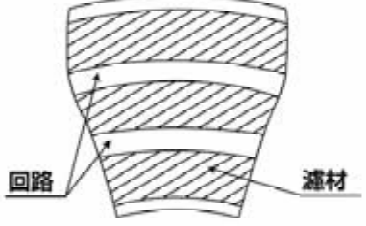
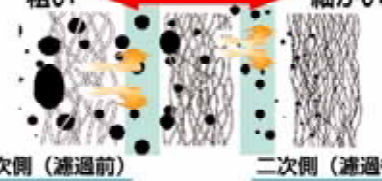
フィルターの表面積を有効利用し、高流量とより精密な濾過精度を両立

デプスタイプ

フィルターの厚みを有効利用し、フィルターの一次側から二次側に繊維径勾配をつけることにより、幅広い粒度分布の液体の濾過に対応

※粘度別にサーフェスタイプとデプスタイプの構造を変化させ、効率の良い濾過を行なうことにより、安定した塗工面を確保することが可能になります。

粘性体の濾過の比較

		構造	濾過メカニズム
低粘性体 フィルター	サーフェス	<p>SLP</p>  <p>濾材 サポートネット</p>	 <p>濾材の厚みを確保しながらも、濾過面積をより多く確保し、線速を低く抑える構造</p>
	デプス	<p>SLS</p>  <p>濾材</p>	<p>粗い ←→ 細かい</p>  <p>一次側 (濾過前) 二次側 (濾過後)</p> <p>適切な繊維径勾配により、安定した濾過精度と濾過寿命を実現</p>
高粘性体 フィルター	サーフェス	<p>SHP</p>  <p>濾材 サポートネット(厚)</p>	 <p>濾材の一次側と二次側に強固なネットを設け、濾材の張り付きを防止し、濾過面積を有効に活用</p>
	デプス	<p>HC</p>  <p>回路 濾材</p>	<p>粗い ←→ 細かい</p>  <p>一次側 (濾過前) 二次側 (濾過後)</p> <p>各種濾材間に補強材を兼ねた回路を設けることで、圧縮変形しにくく、安定した濾過が可能</p>

ROKI

ROKI TECHNO CO., LTD.